

富山高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	海洋実習		
科目基礎情報							
科目番号	0070		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	商船学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	海技実習ポケットブック (古荘雅生監修: 海文堂)						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
慣海性とシーマンシップを身につけることを主目的とする。まず、小舟艇の操船を行うことにより、船上作業に慣れ、チームワークで小艇を動かすことと、リーダーシップをとることの重要性を体験することを目指す。また、ロープワーク等の技業を通じて、シーマンシップに触れ、その意味を理解していく。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	小艇操縦を通じて、船員として要求される慣海性、チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーション能力、忍耐力を養うことを目的とする。						
授業の進め方・方法	実習及び講義						
注意点	<p>3級海技士（航海）船舶職員養成施設、必要履修科目 運用に関する科目 16単位のうち 0.1単位</p> <p>3級海技士（機関）船舶職員養成施設 必要理由科目 執務一般に関する科目 3単位うち 0.5単位</p> <p>授業アンケートの結果より、技術習得スピードの個人差がある事を考慮しながら実習を進めていく。</p> <p>評価が60点に満たないものは、願出により追認試験を受けることが出来る。追認試験の結果、単位の修得が認められた者に対しては、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。晴れていれば、外での実習、雨天時は実習場内で行うので、予定が変わることがある。</p>						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	海洋実習の説明	シラバスの説明、班編制、海洋実習の取り組み方等の説明			
		2週	とう漕	臨海実習場の説明、カッター各部の名称説明			
		3週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		4週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		5週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		6週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		7週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		8週	技業	船で使用される基本ロープワーク			
	2ndQ	9週	技業	船で使用される基本ロープワーク			
		10週	技業	船で使用される基本ロープワーク			
		11週	同上	船で使用される基本ロープワーク			
		12週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		13週	同上	カッターのこぎ方、各種号令の理解			
		14週	技業	船で使用される基本ロープワーク			
		15週	期末試験				
		16週	答案返却 解説 授業 アンケート調査				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0